

# なかつか 亮



## 品川区政の大争点 “街、”つながり、壊れると住民の声 29号線など道路推進か！中止か！



20mの幹線道路が街を貫く



29号線道路と新幹線(上)、大井町線(右)の交差予定地。「5丁目郵便局がなくなると年金が下せない」「商店街が壊れる」と不安の声があがっています。

住宅、商店に立ち退きを求め幅20mの道路をつくる補助29号線について、濱野健区長は「安心安全の街に向け、延焼遮断帯が必要」と改めて推進を表明。いっぽう共産党は「住民追い出しの道路計画は街の力を壊す。防災なら別の方法がある」と中止を求めています。29号線の「推進」か「中止」かが大きく問われる中、品川の防災対策にマスコミも注目。朝日新聞29日付夕刊では「防災道路か地域の絆か」「地域防災のあり方が問われている」と報じました。

### 道路推進を再び表明

8月28日に大井町

「きゅりあん」で開催された「品川区長はまの健を励ます会」にて、濱野区長は「安心安心の街をつくらなければならぬ。そのためには道路拡幅が必要。延焼遮断帯をつくる必要がある」と、改めて防災を理由に29号線の推進を表明しました。

### 防災なら別の方法で

29号線など道路整備を防災対策だと区・都は繰り返して強調。住民からも「防災と言われ

れば必要なのでは」との声もあります。

しかし区議会を通じて「防災の役に立たずむしろ弊害」「街を壊さない別の方法がある」「交通量も減少」「巨額な税金投入」が浮き彫りになりました。

さらに防災の根拠とされてきた火災延焼シミュレーションは「木密地域全体の火災に対する安全性を検証するものではない」と都議会建設局長が答弁するなど、防災の根拠は完全に崩れています。

